

令和6年度事業報告

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

本年度は長らく影響を受けた新型コロナウイルスの感染拡大が一段落し、コロナ禍以前と同様に各種事業において、特段の制限を行うことなく実施することが可能となりました。しかしながら、実生活に目を向けると、相次ぐ諸物価の高騰などにより、ひとり親家庭はもとより、国民の生活は全般にわたり厳しい状況が続いており、決して喜ばしい状況とは言えません。

国においては、経済的な支援として所得税の減税を行いました。前述の諸物価の高騰に見合ったものとは言い難い状況と言えます。一方で、景気は回復傾向に向かっていると言われ、各分野での人材不足が取りざたされていますが、子育てと仕事を一人で担うこととなるひとり親家庭にあっては、就労にあたっての制約が多いこともあり、パート就労や短時間労働など不安定な雇用状態が依然として続いています。

このような中、当連合会は、「愛光会館管理運営事業」の受託者として、「ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業」において職業紹介・就業相談、各種の就業支援講習会を実施し、それらを通じて就業支援を行うとともに、当事者の視点を大切にするため、イベントや行事の開催にあたっては、参加者へのアンケートを実施するなど、ひとり親家庭等に寄り添った事業運営に努めました。

その他にも大阪市からの受託事業として、「ひとり親家庭等日常生活支援事業」「エンゼルサポーター派遣事業」を、また大阪市の補助事業として「高等職業訓練促進資金貸付事業」を実施し、ひとり親家庭等の自立支援に努めました。さらに法人独自でも「自主事業」として「交流事業」や「教養講座」にも取り組むとともに、篤志家の協力を得ながらの「皓養奨学金」や「夢を応援基金（ローソン奨学金）」の給付事業にも引き続き取り組み、ひとり親家庭及び寡婦の福祉推進に向けて努力しています。

令和6年度に実施した事業については、次のとおりです。

I.公益目的事業

公益目的に資する事業として、愛光会館の管理運営事業、ひとり親家庭等日常生活支援事業及びエンゼルサポーター派遣事業（ともに大阪市受託事業）、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業（大阪市補助事業）を実施しました。

【1】愛光会館管理運営事業

1 愛光会館の管理運営

愛光会館は、ひとり親家庭・寡婦福祉事業の活動拠点施設「母子・父子福祉センター」として、ひとり親家庭等の自立に向けた各種の就業支援講習会、就業相談、就業情報の提供、職業紹介を行うほか、生活・法律相談や研修会、各種会議や集会の場などに利用される施設であることから、その運営にあたっては、まず安心して気持ち良く利用していただくことを第一とし、利用者の意見や要望・満足度等を把握するためのアンケート等を事業毎に実施しました。

また、「愛光会館運営委員会」を設置し、年に2回の開催の折に、外部委員からの意見や助言を求め、事業内容の充実と効率的で円滑な運営に努めています。さらに、当事者団体の視点から研修・講習会に一時保育を設けるなど、ひとり親の方に利用していただきやすい会館として、知名度のアップと利用率の向上に取り組みました。

□会館利用実績：令和7年3月末 1,050回 延べ9,242名

※就業相談来館者含む

（前年同期 1,153回 延べ7,641名）

2 講演会、講習会その他教養講座の開催

ひとり親家庭と寡婦の福祉増進、子どもの健全育成をめざし、次の事業を実施しました。なお、各種事業の実施にあたっては、広くひとり親家庭等に参加を求めるとともに、既に実施している事業の見直しやニーズの高いものを事業化するなど、社会・経済状況に応じた事業展開に努めました。

（1）健全育成事業

①親子交流事業

社会から孤立しがちなひとり親家庭を対象に、親子で参加・体験できる学習や自然に触れる講座など、交流や学習する機会を提供することにより親子の絆

を育み、孤立感の解消や子どもの健全育成を図ることを目的に親子交流事業を実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
COM'S カルチャー	8 月 4 日(日)	「モスペット作り」	48 名	愛光会館
	7 年 1 月 26 日 (日)	「親子でみそ作り体験」	59 名	愛光会館
	7 年 3 月 2 日 (日)	「バスで行く！わくわく いちご狩りツアー」	82 名	愛光会館
親子で楽しむ 芋ほりのつどい	10 月 27 日 (日)	「親子で芋ほり体験」	183 名	信貴山のどか 村(奈良県)

②児童の体験学習事業

子どもたちが自然豊かな郊外で生活体験や子ども同士の交流を通じて、自立意識の醸成や社会性等を育むことを目的に実施しており、昨年に引き続き、地引網体験を実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
わくわくキッズ 生活体験学習	7 月 14 日(日)	「地引網体験学習」	79 人	岡田浦漁港

③ひとり親教養講座・研修会

ひとり親家庭の親等を対象に、生活や子育てに役立つ知識、意識や気持ちの持ち方、健康や医療、社会意識の向上など幅広い分野で学ぶ機会として実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
ひとり親教養講座	7 月 28 日(日)	「チョークアート体験」	16 名	愛光会館
	9 月 29 日(日)	「肋骨エクササイズ」	19 名	愛光会館

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
若年寡婦研修会	9 月 8 日(日)	「「～心身体をリフレッシュ～ 坐禅とヨガ体験」	32 名	勝林寺 (京都市)

寡婦研修会	9月6日(水)	「防災と男女参画・ 誰でも取り組める地域防災」	22名	愛光会館
	7年1月25日 (土)	「からだの中から健康に♪ ～みそ作りに挑戦～」	22名	愛光会館
離婚前セミナー	7年3月13日 (木)	「離婚が頭に浮かんだ時に 後悔しない離婚講座 ～自分を大切に生きるために～」	13名	愛光会館

④交流啓発事業

コロナ禍により中止を余儀なくされていた「愛光フェスタ」を5年振りに開催し、ひとり親家庭の交流とともに、「愛光会館」の存在と会館が実施する事業を広く周知しました。また、その間に代替事業として実施していた屋外での交流事業についても実施し、愛光会館の周知・広報に努めました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所
愛光フェスタ	11月23日 (祝・土)	愛光会館事業の啓発・案内、関連イベント等	457名	愛光会館
ひとり親家庭 交流事業	7年2月9日 (日)	「親子でアイススケート &雪遊び」	75名	ひらかた パーク

(2) 生活支援講習会事業

地域社会における人間関係の希薄化が、生活面での孤立を招き、育児や生活に必要な情報が伝わらないという状況があります。

子どもの養育、健康、生活面での悩みを共有し、孤立感の軽減を図るため、ひとり親家庭並びに寡婦を対象に、各区において地域の状況に応じた生活支援講習会事業（講習、生活相談など）を実施しているところですが、母子部長会時に各区での取組状況等について情報交換を行うなどそれぞれ工夫を凝らしながら、実施回数及び参加者の増加に努めました。

□講習会等の実施実績：令和7年3月末 107回 2,541名
(前年同期 112回 2,645名)

(3) ひとり親家庭等に対する各種相談事業

①身近な地域における相談事業

ひとり親家庭等の心身の悩み、ストレスは身近な人のアドバイスや適切な

情報提供を受けることにより救われることも多いことから、住みなれた近隣で気軽に身上・生活相談が出来るよう、概ね小学校下毎にひとり親家庭等福祉相談所を設置しています。また、相談所員の資質向上を図るため6月に全体研修会を実施するとともに、12月には5回に分けて小規模研修会を実施しました。

○ 大阪市ひとり親家庭等福祉相談所の運営

令和7年3月末 : 相談所数 168ヶ所 (前年同期 177ヶ所)
相談件数 6,528件 (前年同期 6,773件)

○ 相談所員研修会

全体研修 (大阪市西区民センターホール)

6月9日(日) 140名

行政説明 「ひとり親家庭への支援制度について」

講演 「心の拠り所となるために」

小規模研修会 (愛光会館)

12月13日(金) 14:00～ 46名

14日(土) 10:00～ 21名 14:00～ 20名

15日(日) 10:00～ 25名 14:00～ 20名

「相談所員って何するの？」・・・これまでの研修を振り返って
人権研修 DVD 視聴「芸能と差別 ―文化を生み育てた人々―」

②会館における各種相談

愛光会館での電話相談等

□相談件数 (就業相談は除く) : 令和7年3月末 440件
(前年同期 523件)

(4) ひとり親家庭支援制度に関する広報・啓発

①「ひとり親家庭等サポートブック」・「ひとり親家庭支援制度周知リーフレット」の作成

ひとり親家庭等に関する制度の紹介と利用のための手引書として、サポートブック 35,000部、周知リーフレット 42,000部を大阪市と共同で作成し、区役所等関係機関に配布しました。

なお、サポートブックは最新の情報に常に対応できるよう二次元コードを活用しています。

②ホームページの管理と LINE の活用

ホームページは携帯サイトや LINE ともリンクさせることにより、見やすくするとともに、タイムリーな情報をいち早く掲載して適正な管理に努めました。

また、就業支援講習会やイベント等は LINE からリンク先を開くことで手軽に申込みができるため、多くの申込みや問合せをいただき、利用者の利便性の向上につながりました。

③情報紙「ひとり親家庭・寡婦福祉ニュース“OHANA”」の発行

ひとり親家庭等へ各種の情報提供と併せて市民のひとり親家庭等への意識啓発のために作成し、区役所、図書館等関係機関に配布しました。

Vol. 37 (5 月発行) 8,500 部

Vol. 38 (9 月発行) 10,000 部

Vol. 39 (1 月発行) 8,500 部

3 大阪市ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業

市内在住のひとり親家庭・寡婦の方、並びに児童扶養手当の受給が見込まれる方のうち離婚前からの支援が必要な方に就業を通じて経済的・社会的な自立を促進することを目的として、次の事業を実施しました。

(1) 就業相談と職業紹介事業

求職者の様々な問題、課題等に対し、キャリアカウンセラー有資格者と福祉経験者が専門的な立場からきめ細かな相談と助言を実施しました。

職業紹介にあたっては、コンピューターシステムによる求職・求人管理を行って就業相談員間の情報共有を行的確なマッチングを図るとともに、担当制による求職者個々の実情とニーズに応じた柔軟な職業紹介と情報提供後のフォローアップを行いました。

また、求職者がいつでもリアルタイムで求人情報を入手できる「求人検索サイト」を運営するとともに、履歴書・職務経歴書の作成指導、模擬面接の実施、履歴書用写真の撮影サービスなどを実施し、求職者へのサポート体制の充実を図りました。

コロナ禍以降、インターネットを利用しての自社求人や求職応募といった、新たな労働市場における需給調整の動きが一举に広まり、令和 6 年度求職登録者数等は回復に至っていません。大阪市ひとり親家庭等就業・自立支援センター（以下「センターという」。）では、求職者が事業者の求めるウ

ウェブ面接に対応できるようアドバイスや模擬面接を行うとともに、希望者にはオンラインによる就業相談面接を実施出来る体制を整備しました。

また、各区が取り組んでいる地域支援調整チームの子育て支援部会に参画し、各機関や団体とネットワークを構築して地域福祉の推進に努めるとともに、センターの周知も行いました。

また就業が決まった者であっても希望する者に対しては、センター事業が利用できるよう「利用登録」により安定した就労の継続を支援する定着支援として各種相談・アドバイス等を実施しました。

□相談日時 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時まで
(火・金曜日は午後8時まで)

(2) 求人確保対策事業

求職者個々の就労条件が多様化していることから、より多くの職種や雇用形態の求人を確保する必要があるため、センターへの直接求人とあわせて、ハローワーク等の職業紹介機関との連携やインターネット情報等の活用を行い、より一層の求人確保に取り組むとともに、対象企業への訪問に加え、福祉関係認定企業（エルボシ・くるみん）約500社等に郵送に事業所案内や求人票を送付し、求人開拓に努めました。

センターの紹介による求職者を継続して雇用する事業主は、国の特定求職者雇用開発助成金の支給対象となることから、この助成金の支給等について、求人事業主に十分な周知を図り、就業促進に有効活用しました。

また、大阪市(こども青少年局)と連携し、さまざまな機会を通じて企業や団体にひとり親家庭の母等の就業支援を依頼するなど、求人の確保を行いました。

《利用実績》

項目 \ 実績	4年度末	5年度末	6年度末	前年同期比
就業相談件数	3,404	3,423	3,412	99.7%
新規求人件数	706	502	452	90.0%
新規求人数	1,501	1,181	1,250	105.8%
新規求職登録者数	572	566	498	88.0%
新規利用登録者数	559	525	673	128.2%
情報提供件数	3,204	3,249	3,403	105.1%
就職者数	304	270	267	98.9%
雇用開発助成金件数	22	5	7	140.0%

（３）各種就業支援講習会

ひとり親家庭の母等には、就業経験が少ないことや、求人条件にみあう技能・資格がないことで再就職に不安を抱えている人、またより良い就業に向けたキャリアアップを望む人などが少なくありません。そのため、就業に有用な資格取得・技能習得のための各種講習会を実施しました。

就業支援セミナーについては、令和６年度は、在宅就業支援講習に１時間講習として組み込み実施しました。

また、講習会申込者全員にセンターへの求職または利用登録を促し、就業相談・求人情報の提供等自立に向けた支援を行いました。

《講習会事業》

講習会名	実施回数	応募者総数	定員(各回)	修了者数
パソコン入門 [15 時間]	1	8	12	8
パソコン Excel・Word [60 時間]	4	85	20	52
簿記 3 級 [75 時間]	2	37	12	17
医療事務 [75 時間]	1	14	12	8
フォークリフト運転技能講座 [33 時間]	2	40	10	18
介護職員初任者研修 [130 時間]	1	11	12	9
介護福祉士実務者研修 [340.5 時間]	1	12	12	11
介護福祉士受験対策 [50 時間]	1	14	12	12
看護学校（准看護師）受験対策 [93 時間]	1	22	20	16
就業支援セミナー[1 時間]	1	26	10	10

（４）在宅就業推進事業

就業意欲があっても子育てや介護のために就職できない人、短時間の勤務にしか就けない人などを対象に、パソコンやインターネットを使った「在宅就業（在宅ワーク）」という新たな働き方をサポートすることを目的として、「在宅就業推進ナビシステム」を運営するとともに個別相談を実施しました。

また、近年の「新しい生活様式」に対応したリモートワークがコロナ禍の影響で大きく推進する事となり、「雇用型」在宅勤務の支援に注目し、ニーズの高い動画編集ソフトを使用した講習を含む「在宅セミナー」を開催しました。

□令和 7 年 3 月 8 日(土)～3 月 22 日(土) 3 日間開催 受講定員 10 名

（５）無料法律相談

ひとり親家庭等の養育費や遺産相続等の専門的な諸問題に対して、弁護士による無料の法律相談を実施しました。

□毎月第２土曜日 午後１時～４時 第３水曜日 午後６時～８時
(いずれも要予約)

◆相談者数：66名〔相談件数：77件〕

親 権	養 育 費	相 続	離 婚	認 知	金 銭 貸 借	損 害 賠 償	サ ラ 金	債 権 債 務	そ の 他	計
8	13	2	45	1	0	2	0	0 ^(※)	6	77

※ サラ金を除く

（６）レンタルパソコン

ひとり親の就業・自立に役立てるため、就業支援講習会の受講生及びセンターの登録者を対象としてノートパソコンのレンタルを行いました。

□レンタル実績件数 (令和６年度) 67件

【２】ひとり親家庭等日常生活支援事業（大阪市受託事業）

大阪市内に居住の母子家庭・父子家庭・寡婦が、技能習得のための通学や就職活動等の自立促進、疾病・冠婚葬祭等の社会通念上必要と認められる事由により一時的に日常生活に支障がある場合に、家庭生活支援員を派遣して生活支援や保育サービスを実施しています。

① 利用状況 〔派遣延回数〕

令和７年３月末	母子家庭	879回	〈 前年同期 884回 〉
	父子家庭	40回	〈 〃 107回 〉
	寡 婦	0回	〈 〃 0回 〉
	計	919回	〈 〃 991回 〉

② 登録家庭と家庭生活支援員登録者数

令和７年３月末	登録家庭数	321世帯	〈 前年同期 328世帯 〉
	生活支援員数	448名	〈 前年同期 421名 〉

③ 研修状況

◆家庭生活支援員(子育て担当)養成研修会

実施回数 年2回

受講時間 31 時間 (保育実習含む)

平日コース：10 月 4 日～11 月 8 日

土曜コース：10 月 7 日～11 月 11 日 修了者 30 名

◆家庭生活支援員スキルアップ研修会

日 程 8 月 25 日 (日)

会 場 エル・おおさか南館 ホール

参加者 91 名

内 容 ・講演：「いつも頑張っているあなたへ」
～よりよいコミュニケーションをめざして～

講師 子どもの発達相談室 あおとり

室長 藤川 典子 氏

・説明「支援における留意点につて」

大阪市こども青少年局 子育て支援部

こども家庭課 担当係長 熊野 陽氏

・家庭生活支援員・エンゼルサポーターからの事例報告

・事務連絡

【3】エンゼルサポーター派遣事業（大阪市受託事業）

家事等の支援を必要とする産褥期の母親のいる家庭（産褥家庭）の母親の精神的・身体的負担を軽減するため、家事援助や育児相談等の訪問支援を実施しています。

各区1ヶ月検診時や保健師からの案内等でエンゼルサポーター派遣事業の認知度が上がっていましたが、令和7年4月から大阪市の新規事業として「子育て応援ヘルパー派遣事業」が実施されることとなり、当該事業は、令和7年3月末で廃止となりました。

① 利用状況 [派遣延回数]

令和7年3月末 産褥家庭（有料） 887 回〈 前年同期 1,206 回〉

② エンゼルサポーター登録者数

令和7年3月末 : 381名〈前年同期 390名〉

③ 研修状況

◆エンゼルサポータースキルアップ研修会

日常生活支援事業とあわせて実施

【4】ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(大阪市補助事業)

- ① 母子・父子自立支援プログラムの策定を受けて、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対して、住宅支援資金の貸し付けを実施し、自立の促進を図りました。

令和7年3月末実績 申請件数 123件 貸付件数 121件

- ② ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金を活用し、就職に有利な資格取得を目指して養成機関に在学するひとり親家庭の親に対して、養成機関への入学に要した費用を貸付け、自立促進を図りました。

なお、当該事業については、令和6年度から実施しました。

令和7年3月末実績 申請件数 17件 貸付件数 16件

Ⅱ.法人の運営と事業

1 法人の運営

市民に開かれた公益法人として、ひとり親家庭並びに寡婦の福祉の向上に努めるとともに、未来を担う子どもたちが健やかに育つよう引き続き活動を進めました。

また、こうした活動のほか、法人の円滑な運営と組織の拡充を図るため、次の会議を開催し、ひとり親家庭等に対する自立支援施策への協力、啓発活動を進めました。

(1) 会議の開催

① 定時総会

6月22日 「令和5年度事業報告及び決算報告について」
「令和6年度期の理事の選任」

② 理事会

6月5日 令和6年度第1回理事会
「令和5年度事業報告及び決算報告について」
「定時総会の開催について」
「共同募金助成金について」

11月6日 令和6年度第2回理事会
「令和6年度上半期の事業報告について」

3月27日 令和6年度第3回理事会
「令和7年度の事業計画、予算について」
「エンゼルサポーター派遣事業の廃止について」

- | | |
|---------------|---------------|
| ③ 市正副会長・常務理事会 | 13回 |
| ④ 各区会長会（愛光会館） | 9回 |
| ⑤ 会長・母子部長合同会議 | 3回（4月・7月・10月） |
| ⑥ 母子部長会議 | 1回（1月） |

（2）ひとり親家庭等に対する自立支援施策の推進への参画、啓発

「大阪市こども・子育て支援会議」、「大阪市社会福祉審議会」等の委員に関係役員を派遣し、当事者意見を反映できる機会には積極的に意見具申するなど、子育て支援やひとり親家庭等に対する自立支援施策の推進・啓発に努めました。

（3）新規会員の入会促進

① 会員増強月間の設定

児童扶養手当の更新時期に合わせて8月を会員増強月間とし、「入会案内セット」（入会案内ビラ・入会申込書・返信用封筒・愛光会館リーフレット・会報「葦のうた」）を作成し、各区役所の窓口や各区での行事・会合の折に配布し新規会員の拡大に取り組みました。

② 「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金制度』」募集時の呼びかけ

会員以外の奨学金応募者に対し、当会の取組や実施事業を説明し、入会の促進に努めました。

2 法人の自主事業

関係協力団体等に事業の継続的な実施について理解をいただき、当会の自主事業として、次の事業を推進しました。

(1) 皓養奨学資金の支給

一般財団法人「皓養社」からの助成金を財源に、会員のひとり親家庭の高校3年生を対象に経済的理由により修学が困難な方に対し、選考により奨学資金を給付しました。

また、選考により奨学特別一時金を小・中・高校の入学時に給付しました。

・奨学資金	高校3年生(1万円×12ヶ月)	119名
・奨学特別一時金	小学1年生(2万円)	23名
	中学1年生(2万円)	52名
	高校1年生(3万円)	88名

(2) 「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金制度』」

平成29年度から一般財団法人全国母子寡婦福祉団体協議会とローソングループが協力し、ひとり親家庭の中学3年生と高校等の1～3年生を対象に実施する給付型奨学金制度で、当会は全母子協と連携し、大阪市内居住の者の受付、選考、推薦を行いました。

推薦枠	11名	受給者	11名
-----	-----	-----	-----

(3) 第72回大阪市ひとり親家庭福祉大会

開催日	10月20日(日)
会場	クレオ大阪西・こども文化センターホール
講演	「お笑いストレス解消法～笑いは副作用のない薬～」
講師	林家 笑丸 氏
参加者	約280名

(4) その他事業

① 「母・父に感謝するはたちの会」

はたちを迎えたひとり親の子どもが、育ててくれた親に対して直接感謝の気持ちを伝え、ともに成長を喜び合う機会として開催しました。

開催日	1月18日(土)	16世帯	32名
会場	プリムローズ大阪		

② しらゆり教室（寡婦・若年寡婦対象）

寡婦の社会的孤立を防ぎ、生きがいをもって日常生活を送ることを目的に開催しました。

開催日 第1回 6月26日（水） 21名

「私らしい生き方 エンディングノート」

（愛光会館）

第2回 9月25日（水） 24名

観劇「大衆演劇」（梅田呉服座）

（5） 会報「葦のうた」の発行

会員への各種の情報提供と市民の当会への理解・啓発のために、会報「葦のうた」を発行しました。

第70号（7月発行） 7,000部

第71号（1月発行） 5,500部

（6） 母子寡婦福祉大会への参加

①全国母子寡婦福祉研修大会（当番団体：富山県）

（兼中部・近畿地区母子寡婦福祉研修大会）

開催日 10月27日（日）

会 場 富山県民会館

参加者 市長・副会長・市母子部長・副部長

内 容 開会式、行政説明、講演、シンポジウム

（7） 近畿地区母子部長会議の開催

昨年に引続き、令和6年度における近畿ブロック各地区の統一活動テーマの設定や取り組み状況等についての情報交換を目的として2回開催しました。

第1回 6月30日（日）

第2回 1月19日（日） *場所はいずれも愛光会館

（8） 飲料水自動販売機の設置

就業支援講習会参加者や就業相談者をはじめとした会館利用者の利便性を図るため大阪市の承認を受け、飲料水自動販売機を設置しています。

(9) 大阪市、関係団体、地域等との連携

大阪市をはじめ、全国母子寡婦福祉団体協議会や大阪市社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、大阪市民共済生活協同組合、大阪男女いきいき財団、大阪市地域女性団体協議会、みおつくし福祉会、なにわエコ会議（エコライフ部会、環境教育啓発部会）、大阪青少年を守る母の会、大阪府地域医療推進協議会などの諸団体との連携を図り、これら団体の行う事業等に参加・協力しました。

また、各区の地域福祉計画に基づく地域支援調整チームに、当会役員・職員が参加し、地域福祉推進の一翼を担ってきました。

(10) その他

当会活動の充実発展、ひとり親家庭等の福祉増進に資する事業について、各区共励会の協力を得ながら積極的な取り組みを進めました。